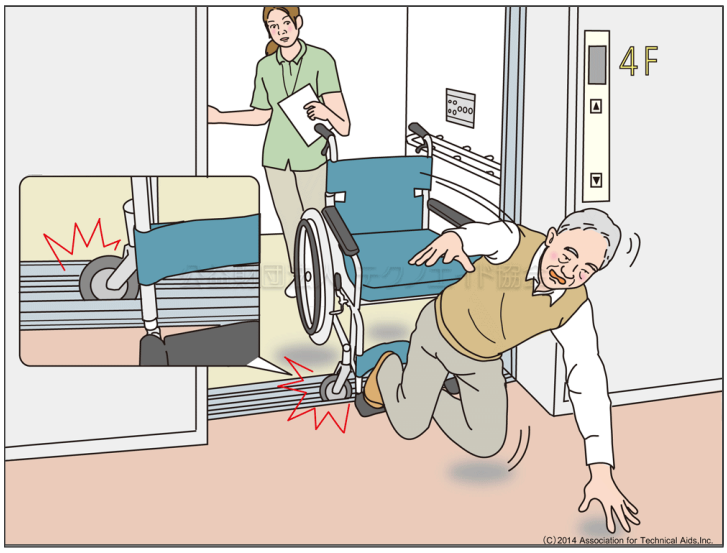
福祉用具ヒヤリハット　研修教材（講師用）

Case：298

エレベーターのドアレールの隙間にキャスターがはまり込み転倒しそうになる

場面の説明

施設内での車いす単独移動の許可が出ていたので、エレベーターを利用していたが、入り口付近で方向転換をしようとしてキャスターが挟まってしまった



利用シーン	移動
主な利用場所	エレベーター
介護保険の種目	車いす
分類コード (CCTA95)	122106 (後輪駆動式車いす)
介護テクノロジー	ー
二次元バーコード	

解説

車いす等での一人での移動を許可する場合は、単に基本操作の可否だけで判断するのではなく、段差や溝など住環境の危険も理解して安全に移動できる操作技能の修得が必要条件になります。また、ドアレールの隙間などの環境的に危険な場所に関しては注意喚起を促すような表示も考えましょう。

参考要因（要因の例であり、これだけが正解ということではありません）

人：車いすの操作に不慣れであった
人：ドアの隙間があることに気が付かなかった
人：ドアが閉まってしまいそうで慌てていた
モノ：キャスターが細く、はまりやすいサイズであった
環境：回転できそうな広さがあった

作成：公益財団法人テクノエイド協会
Copyright 2025 Association for Technical Aids, Inc. All Rights reserved.